

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	上伊那の地域特性を生かした魅力開発事業
事業主体 (連絡先)	上伊那観光連盟 (上伊那広域連合 リニア推進課 内 電話：0265-78-2500)
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	6,685,740 円 (うち支援金： 5,348,000 円)

事業内容

- 地域コンディションレポート
調査項目：8項目
取得サンプル数：44,848人
- 旅づくり塾開催
第1回 平成29年7月3日(月) / 参加者：33名
内容：上伊那の食の取組における課題等
第2回 平成29年7月18日(火) / 参加者：30名
内容：問題解決策の検討、新たな仲間との協働等
第3回 平成29年8月2日(水) / 参加者：32名
内容：効果的な宣伝と広報戦略について等
- 広域滞在周遊ガイドブックの作成
作成物 「信州かみいなじゃらん」
部数：50,000部 (A4カラー 12P)



【 旅づくり塾 】

【目標・ねらい】

- ① 上伊那版DMOを見据えた観光動向の抽出・分析及び観光客のもつニーズと地域課題の可視化
- ② 住民主体の地域づくり

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①これまで漠然と想定されていた地域の観光の姿を数値として見られたことで、今後の積極的な周遊施策や情報発信につながる大きな成果となった。数値とあわせて「ロコミ」による生の声も収集・分析したことにより、この地域に対する評価を具体的に把握することができた。
- ②上伊那の「食」の魅力を更に磨き上げるにはという観点から、地域の生産者を含む多くの関係者に参加いただけたことで、より地域に近く、深いところで課題とニーズの共有ができた。ガレットや蕎麦を含むこの地域ならではの「食」の魅力が、来訪者の滞在時間拡大や周遊促進に有効であることが実感できた。

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ・事業を機に構築された「人のつながり」は時間の経過と共に増幅し、地域の活気や来訪者へのおもてなしに繋がっている。
- ・ガレットによる経済効果はこの1年で26,000千円に達し、副次効果も考えると予想を上回る成果が実感できる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

誘客・滞在・周遊の促進には、地元の人がこの地域の魅力を認識し、それに愛着や誇りを感じる事が重要であり、今年度までの取組によってその土台が構築された。多様な関係者が連携するメリットに具体的な観光マーケティングの成果を併せ、相関性の高い観光資源の滞在モデル構築や、周遊促進を誘導する編集コンテンツの制作に取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある